



発行所
 太平山頂上鎮座
 太平山三吉神社総本宮
 宮司 田村 泰教
 秋田市広面字赤沼3の2
 電話 (018) 834-3443
 F A X (018) 834-3444
<http://www.miyoshi.or.jp>

秋祭り案内号



第35回太平山写生会 太平山三吉神社賞 (秋田東中学校2年 細矢 美嶺)

宮司 田村 泰教

「明けない夜はない」(『マクベス』)とは思いつながらも、夜明けが本当に待ち遠しく感じる。先の見えない長いトンネルの中で、日本国中が、世界がもがき苦しんでいる。▽移動の自粛や酷暑の中のマスク着用、お祭りや集会・イベントの制限、広がる経済的な困窮…。私たちの生活は目に見えないウイルスによって、まるで金縛りにあっているようだ。▽各国でワクチンや治療薬の開発が進められる一方で、早期の完成やその効果に対して過度の期待は禁物という声もある。人類を救う医薬品の誕生を願いつつ、引続き一人ひとりが気を配り、出来る限りの予防を行っていくしかない。▽特に人の動向が見えやすい地方では、感染者やその家族、また帰省者・旅行者に対する偏見や言われなき誹謗中傷も目立つという。いつ誰が雇ってもおかしくない、と頭では理解できても、人間はその弱さゆえ、いざ窮地に立つと悪い意味での攻撃性を発揮してしまう。▽困った時こそお互いさま、今こそ寛容の精神を大切にしたい。ウイルスに束縛された挙句に、人間同士が貶めあっている。それは、それこそやつらの思うツボとなる。

鏡に見る

権禰宜 小池 主 眞



私達は昔から言うが、やはり口があつて日々の生活で言葉を使つて生きています。私達は心という目に見えない形で生きています。

私達は心という目に見えない形で生きています。

何気なしに言葉を使うが、なかなか高度な技術だと思ふ。よく考えてみると、考えるという事自体に言葉いや言語を使つていくことに気付く。言語を使えなければこのように考えることができないのではないかと怖さを感じる。

今の世の中において表現の方法はたくさんある。しかし、簡単で早く効率的に表現できるの言葉ではないかと考える。そして最も人間の感情を真つ直ぐに伝えることができるものではないだろうか。時に目は口ほどに物を言うか。

日々感じる気持ちもすべて自分の内から湧き起るものである。その全てを表現することはできないが何かしらに出力することは考えるをまとめ自分を整理することに繋がるだろう。人間だけが神様をもっているということはいつたいたいどういふことなのか。答えは自分の中にあるのか。祈るといふことの中にはその一つも含まれる気がしてならない。祈りは神様を通して自分を見ているのかもしれない。

安とともに日々の生活を送ることには大変な苦労がある。コロナウイルスからすればただ生活しているだけだと言えようが、私達にとってはそうはいかない。普遍的な世界で自分を変えていかなければいけない世の中で、世界はこんなにも簡単になつてしまふものな心から起る意思が本当の意味で世界を変えていくと思いたい。一日も早い収束を願うばかりである。

神職は祝詞の言葉で神様に願いを申し上げ、作法でその姿勢を表現する。外面的な作法は教えることはできても、祈り方は教えることはできない。一人ひとり形が違ひ自身も異なるそれは言葉にできないだろう。しかし、誰しも祈ることを知らず識らずのうちに身に着けてできるようになる。誰に教わったわけでもなく自然にさも当たり前のように祈る。本当に不思議である。

コロナで人と人との距離が開かれていふ現在、先行きが見えず不



鏡

第35回太平山写生会

7月11日第35回目となる恒例の太平山写生会（主催：太平山写生会実行委員会）が行われました。当日は悪天候となりましたが、多くの幼児・児童・生徒の皆様にご参加頂きました。

その中から以下の方々があめでたく入賞され、8月9日に表彰式を開催しました。



入賞者一覧（順不同）

太平山三吉神社賞

齊藤 仁誠	広面小学校3年生
松本 友里	桜小学校4年生
細矢 美嶺	秋田東中学校2年生

東日本電信電話(株)秋田支店賞

堀井くるみ	広面小学校2年生
木元茅衣子	広面小学校4年生
加藤 永輝	広面小学校5年生
阿部 遥音	太平中学校2年生

秋田魁新報社賞

齊藤 愛乃	広面小学校1年生
鈴木 朝陽	桜小学校4年生
松本 美紀	大人
細矢 美帆	大人

秋田中央郵便局賞

眞壁さゆり	広面小学校4年生
中澤 茅乃	広面小学校5年生
大城くるみ	港北小学校5年生
石戸 凜花	広面小学校5年生

秋田銀行広面支店賞

金谷友里香	広面小学校4年生
八巻 結子	広面小学校6年生
川野 陽莉	広面小学校6年生
浅野 奏太	太平中学校1年生

北都銀行秋田東支店賞

大城ひとみ	港北小学校3年生
堀井こころ	広面小学校4年生
鎌田孔太郎	太平中学校1年生
齋藤 友理	大人

秋田信用金庫広面支店賞

齋藤進次郎	泉小学校4年生
菊池 大輝	東小学校5年生
高橋 歩愛	港北小学校5年生
中澤 理恵	大人

マルシン賞

藤原エリカ	寺内小学校1年生
長門 蓮	旭川小学校3年生
熊谷 千鶴	大人
熊谷 浩一	大人

イチノセキ賞

松本 理歩	さくら幼稚園
川本 凌空	桜小学校6年生
鎌田蒼太郎	太平中学校3年生
川本 健	大人

花のヤマト賞

菊池 詩織	東幼稚園
佐藤 真優	広面小学校6年生
美作 匠人	附属中学校3年生
眞壁 幸子	大人

秋田県信用組合東支店賞

中澤 久能	広面小学校3年生
田賀 慶大	河辺小学校5年生
佐々木璃奈	太平中学校2年生
石戸 紗月	城東中学校3年生

ぺんてる賞

熊谷 蒼真	広面小学校2年生
佐藤 久実	広面小学校4年生
大山 瑛愛	桜小学校4年生
加藤 優香	太平中学校1年生

(有)木曾塗装賞

川本 千華	桜小学校4年生
木元梨衣子	広面小学校4年生
小野 里咲	広面小学校4年生
中川 洋太	太平中学校3年生

汎山書道教室賞

川野 桜莉	広面小学校2年生
傘木 彩瑛	広面小学校4年生
渡辺 理央	太平中学校2年生
菊池美代子	大人



写生会の様子

（太平山三吉神社賞）



桜小学校4年 松本友里



広面小学校3年 齊藤仁誠

みよしスケッチ



半年の罪穢れを祓い清め、
コロナ禍鎮静を祈念しました。

夏越の大祓 (六月三十日)



神人・神職十一名で厳かに御神体をお遷しいたしました。

開山祭 (七月十七日)



太平洋講中・三吉講中の皆様にご参列頂き講員の安全と健康を祈念しました。

写生会表彰式 (八月九日)

講社祭 (八月八日)

追悼
責任役員 千田邦宏様が八月十一日にご逝去されました。長年のお力添えに深謝申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈りいたします。



・正絹几帳 帷二枚
秋田市 松田幸男 殿
神社神紋入りの几帳 帷二枚をご奉納戴きました。

奉納者ご芳名

当社のコロナ禍への取組みについて

新型コロナウイルス感染についてご心配の声や神社の取組みについてご質問を頂いておりますので、現時点での当社の対応と今後の予定を掲載いたします。ご参拝の皆さまと職員の安心安全を第一に、今後も随時改善して参りますので、何卒、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

《感染対策について》

- ・職員はマスク着用の上で対応いたします。
- ・神社の中にお入りになる方（祈祷やお守りなど）は、消毒液のご使用とマスクの着用をお願いいたします。
- ・祈祷受付と授与所にはビニールの仕切りを設け、授与品にはビニールをかけております。
- ・祈祷の際はグループ毎にお座り頂き、1m以上間隔を空けて次のグループにお座り頂きます。
- ・手水舎は柄杓なしでお使い頂ける形になっております。
- ・ご高齢の方や持病をお持ちの方、また感染拡大地域（特に東京）ご在住の方は、祈祷・祭典のご参列をお控え願います。また必要に応じて検温を実施させていただきます。
- ・ご参拝できない方でご祈願やお札・お守りなどのご要望がございましたら、電話・FAX等でお気軽にご連絡下さい。



受付

《新年の対応（予定）》

- ・新年のお札・お守り・縁起物は12月1日より授与いたします。
- ・神社正面等の鈴はお外した形でお参り頂きます。
- ・マスク着用の上でお参り願います。
- ・御朱印は書き置き紙のみの対応とさせていただきます。
- お守り・お札の授与所について
 - ・密を避けるため、例年より間口を広げて対応する予定です。
 - ・各授与所にはビニールの仕切りを設け、マスク・フェイスシールド着用の上、対応いたします。
 - ・対応者は手指の消毒を励行いたします。
 - ・状況により例年と授与所開設の時間を変更する場合がございます。
- 企業・団体様のご祈祷について（毎年ご参拝の団体様には、後日詳細なご案内を差し上げます）
 - ・各団体のご参列は3名様までとさせていただきます。
 - ・席は団体毎にお座り頂き、他グループとは1メートル以上間隔をお空けます。
 - ・退出の際の密を避けるため、玉串拝礼後、順次ご退出頂くこととします。
 - ・ご参拝できない企業様には、FAX等での通信祈祷も承ります。
- ご家族などのご祈祷について
 - ・ご高齢の方、ご持病をお持ちの方のご参拝はお控え頂き、出来るだけ少人数でのご参列をお願いします。
 - ・ご参拝できない方の通信祈祷を随時承ります。

《奥宮について》

●太平山頂上 奥宮・参籠所→閉鎖中

職員が定期的に各施設や登山道の巡視を行っております。



正月団体用席配置

コロナ禍収束祈念 秋季例大祭のご案内

本来ならば、実りの秋を皆様と共に喜び、大神様に感謝を捧げる秋の例祭ですが、本年は併せてコロナの禍の収束を祈念して斎行いたします。諸状況を踏まえ、正式な案内状はお出しいたしませんので、左記の注意事項をご理解の上、ご参列頂ける方は十月七日までに電話等でご連絡願います。

記

宵宮祭 十月十六日(金) 午後六時
例大祭 十月十七日(土) 午前十一時

(注意事項)

- ・ご参列の場合は、マスクの着用と入口での手指の消毒と検温をお願いいたします。
 - ・直会はございません
 - ・東京都ご在住の方は参列をご遠慮願います。
 - ・斎館での参籠はできません。
 - ・胡床の間隔を空けてお座り頂き、玉串奉奠後、順次ご退出頂きます。巫女舞の奏楽はございません。
- ◎ご参列の方は、十月七日までに係(和田)までご連絡下さい。

祝 七五三



男児(3才・5才)及び女児(3才・7才)の七五三参りを下記の期間執り行います。お子様のご成長をご家族皆様でお祝い下さい。

- 期 日 9月～12月中
 - 時 間 朝8時半～夕方5時(予約は不要です)
- (期間・時間外にご希望の方は予めご連絡下さい)



年末年始 巫女奉仕者募集

(10月1日受付開始)



年末年始に巫女の奉仕頂ける方を募集いたします。当社の顔として参拝者と接する巫女奉仕はとても重要なお務めであり、貴重な体験になるものと思います。尚、本年は感染予防として、手指の消毒剤やマスク・フェイスシールドなどを支給いたします。

ご希望の方は、気軽にお問合せ下さい。

(連絡先 018-834-3443 係 和田・内海)

○奉仕対象：高校生・大学生(女性)

○奉仕日：年末年始ご都合の良い日

※事前に提出頂く書類及び面接(12月上旬)がございます
※希望者多数の場合は、御奉仕頂けない場合がございます